

平成 28 年 2 月 9 日
千葉木鶏クラブ
(368 回 例会)

孔子と『論語』(第 14 回)

時の流れは、早や二月半ば、二月は、逃げるの例え通り拙宅玄関先の梅の花は満開。
今回は、定番の『論語』と『致知』三月号「38 年願いの中に生きてきた」横田めぐみさん特集と重ねあわせての映像『命を奪うな！ 自由を返せ！』を上映します。
どなたでもいつでも歓迎の千葉木鶏クラブです。
皆様のお越しをお待ちしています。

記

1. 日 時 : 平成 28 年 2 月 27 日 (土)
PM 16 時 00 分 ~18 時 00 分
2. 場 所 : 千葉生涯学習センター ☎043-207-5811
<交通案内> JR 千葉駅東口から 徒歩 8 分 駐車場有り
3. 会 費 : 1000 円
4. 演 題 :
講話第一部: 孔子と『論語』 「安岡正篤」講和選集より
内容 : (1) 孔子の独白 為政第二
・ 徳性(人間の本質的要素)と知性、技能、習慣(躰)
・ 家庭教育と学校教育
・ 年齢の別称: 志学、而立、不惑、知命、耳順、従心
(2) 夫子の道は忠恕のみ
・ 、吾が道は一(いつ)以て之を貫(つらぬ)く。
・ 夫子(ふうし)の道は、忠恕(じょ)のみ。 里仁第四
講話第二部: 映像『命を奪うな!自由を返せ!』 映像教育研究会提供
: 『致知』三月号「38 年願いの中で生きてきた (横田夫妻)」参照

以上

[千葉木鶏クラブ](#) 代表兼事務局 丸島 忠夫

[Email: marushima_t@snow.plala.or.jp](mailto:marushima_t@snow.plala.or.jp) Tel: 0475-25-1211 Fax: 0475-38-5153

第 14 回 孔子の人と道（1）

「安岡正篤」講和選集より『孔子と論語』

1. 孔子の独白

子曰（のたま）わく、
吾（われ）十有五（じゅうゆうご）にして學（がく）に志（こころざし）し、
三十（さんじゅう）にして立ち、四十（しじゅう）にして惑（まど）わず、
五十（ごじゅう）にして天命（てんめい）を知（し）り、六十（ろくじゅう）
にして耳（みみ）順（したが）い、七十（しちじゅう）にして心（こころ）
の欲（ほつ）する所（ところ）に従（したが）えども、矩（のり）を踰（こ）
えず。
＜為政第二＞

＜ 補足 ＞

- ・ 徳性（人間の本質的要素）と知性、技能、習慣（躰）
- ・ 家庭教育と学校教育

＜孟子の言葉＞

「夫子の間は善を責めず、善を責群れば則ち（夫子の間が）離るる。
離るれば「不詳これより大なるはなし」

- ・ 年齢の別称
志学、而立、不惑、知命、耳順、従心

2. 夫子の道は忠恕のみ

子曰く、
参（しん）や、吾が道・一（いつ）以て之を貫（つらぬ）くと。
曾子（そうし）曰く、
唯（い）。子出づ。門人問うて曰く、何の謂（いい）ぞやと。
曾子曰く、夫子（ふうし）の道は、忠恕（じょ）のみ。 ＜ 里仁第四 ＞

＜ 補足 ＞

- 参（しん）：性は曾、名は参、字は子與、孔子より四十六歳の年少。
篤実な人柄で、孔子は「参や魯（にぶい）」（先進第十一）と評している。
- ・ 忠とは理想を追及する精神・努力を言い。恕は、それに伴って一切を包
含し育成してゆく仁愛の寛容である。